

ダンゴムシ、三田にも多彩な種

鈴木武研究員



庭や公園などの石の下に隠れていて、捕まえると丸くなるダンゴムシ。正式には「オカダンゴムシ」という名で、実は、明治のころに日本に入ってきたヨーロッパ原産の外来種です。

「虫」といっても6本足の昆虫ではありません。14本の足を持っており、エビやカニなどと同じ甲殻類の仲間です。

平成に入ってから、神戸市周辺ではイタリア原産の「ハナダカダンゴムシ」が見つかっています。触覚の付け根に突起状の鼻がある

のが特徴です。白っぽく、オカダンゴムシよりも平らです。

ハナダカダンゴムシは1943（昭和18）年に横浜市で見つかった記録が最初で、2年後には国内2例目の報告が神戸市でありました。全国的に見てもまれな種類と思われていましたが、2012、13年にかけて神戸市や明石市など1161地点で調査したところ、291もの地点でハナダカダンゴムシが見つかる

り、普通に分布していることが分かりました。

三田市では深田公園などに生育しています。丹波篠山市でも記録があり、三田市内でも広く分布している可能性ががあります。

オカダンゴムシのようで



イタリア原産のハナダカダンゴムシ

すが、平たくて丸まらない「フラジムシ」の仲間も三田市内でよく見かけます。

オカダンゴムシより動きが速く、後部には突き出た2本の尾肢が目立ちます。この仲間もヨーロッパ原産の外来種が多いのです。

フラジムシの仲間のうち、長さ2センチほどの大きさで光沢のある「クマフラジ



阪神間の臨海部に生息するクマフラジムシ

ムシ」は阪神間の臨海部に生息しています。神戸市北区でも記録はあるので、三田市内でも見つかるかもしれません。

他にも在来種の「コシビロダンゴムシ類」が里山の落ち葉の下などで見つかります。

三田市内でダンゴムシ、フラジムシの分布や生育環境はほとんど調べられていません。

夏休みに、近所の公園などで調べると新たな発見があるかもしれません。

ひとはく
研究員
だより